



体験入学・学校説明会のお知らせ

北海道札幌東商業高等学校(公立)

(札幌市厚別区厚別中央3条5丁目6-10)

体験入学

- 開催日時 令和7年9月6日(土) 13:00 ~ 16:30(受付:12:15~12:55)
- 場 所 北海道札幌東商業高等学校(札幌市厚別区厚別中央3条5丁目6-10)
- 対 象 中学3年生および保護者、中学校教員
- 時程・内容 12:15 ~ 12:55 受付
13:00 ~ 14:00 学科紹介、在校生トークライブ、学校紹介ビデオ
14:00 ~ 14:20 校舎見学
14:30 ~ 15:20 学科別体験学習[4学科から
1学科の授業を申込時に選択]
15:20 ~ 16:00 部活動見学(希望者のみ)
- 受付期間 令和7年7月15日(火)~8月29日(金)



<https://forms.gle/74tjNzRhF4AmWwLm9>

市立札幌彩輝高等学校(公立)

(札幌市南区川沿3条2丁目1番1号)

学校説明会

- 開催日時 令和8年8月22日(土)
 - 第1部 9:00~10:30 受付開始 8:30(定員 350名)
 - 第2部 12:00~13:30 受付開始 11:30(定員 350名)
 - 第3部 15:00~16:30 受付開始 14:30(定員 350名)
- 場 所 市立札幌藻岩高等学校 体育館(札幌市南区川沿3条2丁目1-1)
- 対 象 中学校3年生、保護者(生徒1人に対して1名)
- 内 容 ① 全体説明(概要、カリキュラム、学校生活、キャリア支援、校舎情報、入試制度など)
② 個別質問 ※任意参加
- 入場口 藻岩高校の生徒玄関から入場
- 持参物 上靴、靴袋、その他必要に応じて持参。服装の指定はなし。
体育館には空調設備がないため、各自、暑さ対策。
- 受 付 体育館入口の受付で、所属中学校と氏名報告
- 受付期間 令和8年7月21日(火)16:20~7月31日(金)17:00
URL から Google Forms により参加者本人が参加申込
<https://forms.gle/u3dzy2fd5SdW2Bec9>
- 掲載開始日 令和8年7月3日(金)



札幌日本大学高等学校(私立)

(北広島市虹ヶ丘5丁目7-1)

※いずれも生徒・保護者対象で事前申し込みが必要

<学校説明会>

- ・第1回学校説明会 8月22日(土)
- ・第2回学校説明会 10月17日(土)
- ・第3回学校説明会 11月14日(土)

<オープンキャンパス>

- ・第1回/5月16日(土)
- ・第2回/6月20日(土)
- ・第3回/7月18日(土)
- ・第4回/9月12日(土)
- ・第5回/10月3日(土)
- ・第6回/10月31日(土)
- ・第7回/11月28日(土)
- ・第8回/12月5日(土)



<個別相談会>

- ・第1回/10月24日(土)
- ・第2回/11月7日(土)
- ・第3回/12月19日(土)

小樽双葉高等学校(私立)

(小樽市住ノ江1丁目3-17)

<イベント概要>...いずれも学校ホームページから申し込み

- 第1回学校説明会 7月11日(土) 9:30~12:00
- 中3学力テスト対策授業 8月4日(火)・5日(水) 12:50~16:30
- 強化指定部活動体験会 8月22日(土) 9:00~12:00



犬養毅の進路選択

「自分は何を大切に生きていきたいのか」を考えることは、とても重要なことです。特に世界や自然環境が激変していく現代においてはさらに重要性が増しているのではないのでしょうか。激動の時代を生きた人物に、政治家として活躍し、後に内閣総理大臣となった犬養毅がいます。

犬養毅は現在の岡山県に生まれました。幼い頃から読書が好きで、学問に熱心な少年だったといわれています。若い頃には東京へ出て学びましたが、当時の日本は明治維新を迎えたばかり。社会の仕組みが大きく変わろうとしていました。多くの若者が新しい時代の中で進むべき道をてさがしていたのです。

そんな時代の中、犬養は官僚や軍人の道ではなく、新聞記者として社会に関わる道を選びました。当時の新聞は、世の中のできごとを伝えるだけでなく、人々に新しい考え方を広める大切な役割を担っていました。彼は記者として取材や執筆を重ねる中で、「国を良くするためには政治を変える必要がある」と考えるようになります。そしてついには政治家へと転身し、自分の理想を実現するための挑戦を始めていきます。

犬養はその後、第1次護憲運動など、政党政治の発展に尽力し、多くの困難に直面しながらも自分の信念を曲げませんでした。そして彼の最期となったのが、1932年の「五・一五事件」です。首相官邸に押し入った海軍青年将校らに襲撃された際、犬養は「話せば分かる」と語ったと伝えられています。暴力ではなく対話によって問題を解決しようとした姿勢は、今も多くの人々にエピソードとして語り継がれています。

「自分の信じる道を大切にすること」。まわりに流されるのではなく、自分の考えをもち、その実現のために努力を続けること。また、経験と視野を広げること。そんなことの大切さを感じさせてくれているような気がします。

